

発 言 通 告 書

発言者氏名	ねぎしかずこ
発言の会議	令和2年 9月16日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 新型コロナウイルス感染症から市民を守ることについて

(1) 公衆衛生の体制強化について

ア 本市に早くから保健所が存在していたことの強みが、今回の新型コロナウイルス感染症へ立ち向かう際に、どう発揮されたのか。

イ 臨時的に増員された体制で取り組んだ蓄積がしっかりと引き継がれるよう、業務の継続性をどのように図っていくのか。

ウ 感染者の接触者追跡を担うトレーサーのような業務に携わる人員は、何人いたのか。また、コロナ禍のピーク時には、何人必要とされたのか。

エ 恒常的に公衆衛生を担う正規職員を増やす必要があるのではないか。

(2) 米海軍横須賀基地関係者からの新型コロナウイルス感染の防止について

ア 米軍は「安全保障に支障があるから」と感染状況を極力隠そうとしており、国も「我が国の安全保障を守るため」、そして市長も「日米衛生当局間で情報交換しながら行っているから大

丈夫」と言って、市民に多くを明らかにしようとはしていない。これでは市民は基地関係者からの感染を防衛しようがない。今は新型コロナウイルス感染症が誰彼となく襲ってくる非常事態にある。感染経路などの公表で市民が感染防衛できることこそ、市民が求める「安全保障」ではないか。

イ 市長は、米海軍横須賀基地関係者の最近の新型コロナウイルスの感染者は、「市内からの由来としか考えられない」と8月31日の本会議において大村洋子議員との一般質問の中で発言した。後に、「市内からの」という部分を「基地外からの」と訂正したものの、「市内ではない」とは訂正しなかった。

(ア) 「基地外」とは、市内も当然含まれていると思うが、この認識でよいか。

(イ) 「基地外」とは、市内以外のどこを含めるということか、具体的に示していただきたい。

(ウ) 感染が「基地外からの由来」と考えるならば、その根拠を示すべきではないか。市民と米軍関係者が、基地外のどこで、どのような濃厚接触のもとで感染したのか、速やかに開示してほしいがいかがか。

ウ 空母レーガンが9月10日に急遽、横須賀に戻り、11日には出港した。この件に関する詳細を開示してほしいがいかがか。

エ 日米地位協定が他国と比しても極めて不平等なことが、開示が進まないことの根っこにある。市長は、神奈川県基地関係県市連絡協議会を離脱したが、そうすれば、開示も進むと思っているのか。

2 CO₂削減に向けて廃プラスチックごみを減らす必要性について

廃プラスチックごみも焼却することとなったエコミルが稼働し、焼却に伴う二酸化炭素の排出量が増加している。

(1) 本市独自の「プラごみゼロ宣言」を出して、市民へ廃プラスチックごみ削減への強いメッセージを送ることが重要と考える

が、市長の見解を伺う。

- (2) 国の方針に翻弄されることなく廃プラスチックごみ削減に邁進することについて、市長の決意を伺う。

3 横須賀市立福祉援護センターかがみ田苑の運営について

先頃、日本共産党市議団へ横須賀市立福祉援護センターかがみ田苑の経営状況や事業運営が適正であるか調査が必要ではないかという御指摘を頂いた。

- (1) 本市からかがみ田苑への指導監査は過去にどのくらいのスパンで行われ、直近はいつ行ったか。直近の指導監査ではどのような状況だったのか。また、私たちは経営状況や事業運営に関する調査を福祉部指導監査課へ依頼したが、その結果は出ているのか。
- (2) 本市に指定管理者制度が導入されて15年余り、いわゆるハコモノである施設管理中心の業務から、ライフライン、さらには医療やかがみ田苑をはじめとした福祉等の業務にまで広がった。本市の指定管理者制度全体を通して、振り返りと今後の展望を含めどのような所見をお持ちか。